



もりの手紙

mo ri no te ga mi

8
葉月

森にこうよ!
もりメイト倶楽部
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

fax. 082-221-1080

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com

NO 289 / 2021

《 安全第一! 》

自分のために
仲間のために
家族のために

contents

- ★ 8月例会案内: 8月22日
「ゆとりの森」眺望改善整備
..... 2
- ★ 7月里山部会報告: 岩田
・「勝三郎の果樹園日記」紹介
..... 3
- ★ 7月クラフト部会報告: 佐藤
・樹木いきいき講座その11: 藤原
..... 4
- ★ 第1回もりメイトキッズ報告
: 佐々木
..... 5
- ★ ワークショップ
ロケットストーブ製作: 佐々木
..... 6
- ★ ゆうゆう横川木エクラフト
・今月のひと枝: ヘラオオバコ
..... 7
- ★ 8月・各部の活動予定他
..... 8



【第1回もりメイトキッズ】ちょっと一息。森でのびやかに遊ぶ子ども達。:P5にて掲載

私たちも 森づくりを応援しています。

- ◆ 中外工業株式会社
- ◆ ゆめみらい株式会社
- ◆ こだまクリニック
- ◆ イオングループ
- ◆ 株式会社ニシナ屋珈琲
- ◆ 株式会社東和テクノロジー
- ◆ 中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆ 一般財団法人セブン-イレブン記念財団
- ◆ 公益社団法人広島県みどり推進機構

〈 ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略 〉

もりメイト倶楽部
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり:** 健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く:** 森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ:** 人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える:** 恵みを利活用し、拡げる活動。

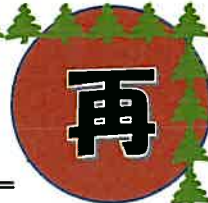
例会

倶楽部のメイン行事(原則第4日曜日)
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は 1997 年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています!

全国林業普及協会会長賞、広島ユネスコ活動奨励賞、広島県知事賞、広島市「ひろしま街づくりデザイン賞」その他受賞歴多数。



Welcome

8月例会 = 地域貢献プロジェクト =

「ゆとりの森」眺望改善整備他

～コロナ禍で延期となった4月例会、「ゆとりの森」。緑豊かな大自然の中で作業と親睦をメインに、爽やかな汗を流しましょう。来たれ！New Face.

◆日 時： 8月22日（第4日曜）9時半～少雨決行

◆会 場：【ゆとりの森】北広島町南方 3733

※ナビで「ゆとりの森南方」を検索。または、『可部バイパス』を通りセブンイレブン広島上根バイパス店に9時に待ち合わせ。

◆持参物： 山の道具・水筒・食器・名札・200円

※ゆとりの森オーナー沖野さんのご厚意により、当日は おむすび、「しし汁」窯焼ピザなどを準備します。材料費200円ご協力ください。
弁当はいりません。 ※マスクは忘れずに！



◆申込み： 8月16日（月）までに各班長へ連絡

※賛助会員その他参加希望の方は
事務局へ電話かメールでご連絡下さい
090-6419-7531 : info@morimate-ch.com

ゆとりの森は、「ゆとりの森里山整備事業」として北広島町が認可した沖野さん所有の森です。オーナーの沖野さんが何十年もかけて里山林を整備し、みんなが自然を体験し集える森を創って来られました。倶楽部との出会いは、平成28年6月の中国新聞「オビニオン」に掲載された山本理事長の記事をご覧になった沖野さんから「活動の場に使って下さい」と連絡を頂き、以後、整備を含め研修の場として活用させて頂いております。緑豊かな雑木林に囲まれ、深呼吸したくなる事間違いなし！！当日は作業と親睦をメインにした Welcome 例会を予定しています。市内から多少の距離はありますが是非ご参加を。



9月例会は、第4日曜(26日)神ノ倉山整備を予定しています。担当は5班です。



～倒木・枯れ木の除去：子ども達を安全に受け入れるための準備作業他～

「緊急事態宣言」延長に伴い、前回6月の里山部会は中止しましたが、「新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策」が7月11日をもって終了したため、各イベント自粛が制限付きで解除となりました。

今月の里山部会の活動は、7月末、子供たちが妙國寺裏山のスクウスクウの森で集うため、安全に受け入れる事ができるように、フィールド内の倒木・枯木の除去、また、小川フィールドで竹炭作成準備を行いました。

小川フィールドでは3日前から



チェーンソーで玉切りをする高橋さん

の長雨でフィールド内の川が氾濫し、一部では深さ12cmの水溜まりが出来ていたので、その処理を竹炭準備班にお願いし、スクウスクウの森で受入準備をしていると、続々と倶楽部員が到着、23名の参加となりました。

始めに体温測定・体調確認を行い、本日の作業の目的、注意事項の伝達、妙國寺ご住職の挨拶を受け、2班に分かれて作業を開始。

1班は、昨年11月に例会で伐倒したアカマツの処理を、新しく購入したロープウィンチ（セブンイレブン財団からの寄付）の試運転を兼ねて行いました。2班は、森の中腹まで登り安全を確保して、支障木・枯木の除去を行いました。昼食時には、松岡さん提供の西瓜の差入れもあり午後からの作業に英気を養いました。

今回は、久しぶりにチェーンソーを使うためか、みんな生き生きとして活動を進め、予定していた倒木・枯木の除去を無事に終えま

した。14時30分には後片付けを行い作業終了。反省会では、初参加の高橋さんが『前は四阿の部材加工に参加しました。今回はもりメイト育成講座以来のチェーンソー使用で、思い出しながら作業に当たりましたが、皆さんから沢山のアドバイスをいただき大変勉強になりました。また、参加したいと思います』と、感想を述べられ、その後各班からの作業の報告とヒヤリハットの有無を確認し次回の予定を伝達して終了しました。帰りには明野さんから茄子・胡瓜、妙國寺からは、ブルーベリーをいただき帰宅しました。

次回8月の里山部会は、7月号でお知らせしたようにすでに8月1日に行っており、活動予定を掲載している会報が発行させる時には終了しています。9月には、10月にスクウスクウの森にて行う例会の準備として、12日(日)に作業道作りを行う予定です。是非ご参加下さい。

「勝三郎の果樹園日記」

『一人でも多くの人達が余生としてではなく、人生最高の時間を過ごして欲しいと思っています。農作業でなぜここまで夢中になれるのか。77歳にもなってほぼ毎日元気に果樹園に通えるのか。不思議に思われることもあります。それは、「遊び感覚でできる」からです。～前書きより抜粋～』

もりメイト倶楽部の賛助会員でもあり、20周年記念行事にも参加された中村勝三郎さんが、この度『勝三郎の果樹園日記・遊び学び育てる』約180ページ(1980円)を出版されました。

中村さんは、広島市職員を退職後15年間にわたり、安芸区で果樹栽培を楽しんでおられ、ブドウ3種類・モモ3種類・リンゴ2種類・ナシ2種類・カキ2種類ほかキウイ、ミカンなど沢山の果樹を栽培されています。消毒、枝の剪定、果穂の摘花、果実の摘果、袋掛け、収穫など収穫など年間の実体験を日記形式で綴り、一年間の流れをイメージしやすく紹介しています。《見勢井顧問記》

～発行：ぞうさん出版。書店・ネットにてお求めいただけます～





★7月部会は5回（毎週土曜日）、セミとクワガタが遊びに来る山本基地を基点に以下の活動を行いました★

- 1) 「子どもデイサービス ゆうゆう」で使用のキッズクラフト部材を準備《箱庭》
- 2) 工作機械の点検と整備 * 今月は空気圧縮機のドレン排水、オイル交換。電動カンナ機の整備*
- 3) ツリーハウスに使う壁材補充のため、佐伯森林組合より杉の端材を格安で頂く。
端材（50本×4m）軽トラでの山本基地までの運搬が大変でした。
- 4) 北野大先輩より手押しカンナ機・手押し製材機寄付頂きました。*後輩への熱き伝承の想*
その他「スクウスクの森」にて^{あづまや}四阿整備のための製材準備作業。（セブンイレブン補助基金にて購入した、ロープウインチ・スキッドコーンを活用しました。）



レギュラー部員紹介します

*もりメイト育成講座4期生。58歳定年退職後に倶楽部参加。現在78歳、参加歴21年の大先輩です。入会した当初はチェーンソーを2台壊すぐらい倶楽部に熱中したとのこと。当時はクラフト部会の参加者は少なく、ホンダOBの公私を忘れ、端材を利用してのクラフト製作への情熱に感銘し手助けしたのが始まり。細かい部材の加工、組み立てなど完璧で集中できて楽しいとのこと。日頃は健康管理に気を付けられており、週2回ウォーキング10kmは歩かれる。今後とも健康で後継者指導を含めよろしくお願いいたします。*8月のクラフト部会は、湯来町「松波邸・焚火学会」フィールドにて間伐材の製材、鋸刃のあさり、刃研ぎ・ツリーハウス壁材加工、「スクウスクの森」簡易製材機。学んで役立てたい会員の方、参加お待ちしております。*



原島さん

樹木いきいき講座 <その11> 3班 藤原満男

～水やり～

病虫害対策の一番のポイントは野菜を健康に育てることです。最も大事なのが水やりです。毎日カンカン照りで、土の表面が乾いてしまうと、かわいそうと思い水をやり過ぎてしまうのです。すると根は伸ばすのを怠るようになります。甘やかすはいけません。土が乾くと根は水を求めて伸びようとします。根が深く長く細かく張り巡らせている方が、多くの養水分を茎や葉や実や根に送ることが出来ます。

水やりのタイミングは、土に人差し指を突っ込んで先端が湿っていれば、まだ水をやらなくていいのです。だいたい前、アメリカの絵本作家ターシャテューダーさん

の庭を紹介する番組を見ました。驚いたことに草花に話かけながら、水を必要としている草花を見極めて限定的に、ジョロで水やりしていました。プロでも、「水やり3年」と言い継がれているそうです。

野菜の場合、畝に植えた後しばらくは根本近くに、少し生長すると畝の肩に、だいが大きくなると通路に肥料や水をやります。樹の場合、根が深いので、地面を水がすぐ流れ落ちない形状にしたり、排水管用の塩ビ管を30センチ以上埋めて、夏でも2~3日に一回、やる時はたっぷり灌水します。



第1回もりメイトキッズ 6月27日(日) 松が原キッズフィールド

参加 12名(子ども7名・保護者5名)

部会長：佐々木 綾子



好きな木の名札を作ろう&森をきれいにしよう。

～植物観察と森林整備～

梅雨が明けてもすっきりしない日々が続きましたが、当日は天気にも恵まれ今年度最初の「もりメイトキッズ」を開催することができました。

今年度のテーマは「自然と友だち」～楽しもう・ふれあおう・守ろう～と題して、今一度、自然との関わり方を参加者と模索して楽しみながら、集う人達と共に自然に触れ合うことを目的としてプログラムを作成しました。



第1回目は、松が原のキッズフィールドの植物を観察し、印象に残った樹木の名札を子供たちに作ってもらいました。子供たちが作った名札は、コバノミツバツツジ・エゴノキ・ウリカエデ・シキミ・アセビ・スノキなど。上級生は、メモを取りながら観察し、クラフト部会に製作して頂いた間伐材の板材に、樹木の名前と特徴を書き入れました。「《葉が》酸っぱいからスノキ」「エゴノキの実は《せっけん》になります」「ウリカエデは、モミジの葉に似てる」など、樹木の特徴を上手に捉えた名札が仕上がりました。また、このフィールドのメインといっても過言ではないコバノミツバツツジの名札を作ったキッズが2名いたのも印象的でした。



午後は、これらの樹木のあるフィールドに日光が届くように整備を行いました。初めて参加したキッズは、『ノコの使い方を『刃全体を使ってゆっくり引く』と、スタッフよりコツを教わりながら真剣そのもの。リピーターのキッズも、倒したい方向に倒せず苦戦し、なかなか思うように倒せない木に対して、自然の強さを感じたとのことでした。



参加された保護者の方々は、森林に対して非常に高い関心を示され、私たちの活動に対して興味を持ってくださり、『子供たちに自然との関わり方を学んでほしい』とされていることが、アンケートから伝わってきました。その様な思いに今後も応えられるように、魅力ある『もりメイトキッズ』にしていきたいと思っています。



1)みんなでパチリ集合写真

2)植物観察

3)植物観察(高学年)

4)木の名札をつけたよ

5)スノキの名札

6)お気に入りの木を発表したよ。

7)ノコを使った後はちゃんと手入れをします。

8・9)たくさん陽が当たるように整備をしたよ。

ワークショップ開催「ロケットストーブ」

ロケットストーブとは、ロケットのゴー！っと勢いよく火が燃えるストーブのことを言います



ロケットストーブの説明をする北田講師



ワークショップを知り会員となった林さん(右端)

災害時にお役立ち！！

開催日 : 2021年7月4日(日)

場所 : 松が原キッズフィールド

参加者 : 15名

【報告：佐々木環研部長】



金切りハサミでペール缶を切る



穴を開ける位置を定規で測る



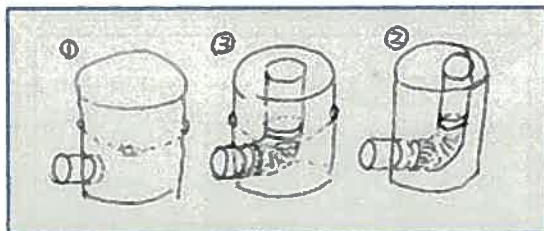
断熱材になるパーライトを詰める

広島県に発令された緊急事態宣言により、5月に開催予定だったロケットストーブのワークショップは解除後の7月4日(日)となり、無事行われました。

ロケットストーブに興味を示した倶楽部員8名が集まり、北田正仁講師のもと約2時間、参加者は悪戦苦闘しながら製作しました。金物を丸くカットする作業で、金切りハサミやディスクグラインダーを用いたのですが、硬い金物をカットする作業はとても難しかったようです。

【ロケットストーブの作り方~右イラスト参照~】

- ①ペール缶の蓋を外しペール缶の横に管が通る穴を楕円形に穴を開ける。
- ②蓋にも丸く穴をあけ、縦に直管、横からエビ曲がり管を入れる。
- ③パーライト(断熱材)をペール缶と管の間にいれ、管が動かないようにする。



【ロケットストーブの特徴】

- ①短時間で高い火力を生み出すことができる。
- ②薪や炭のほか、まつぼっくりや小枝、紙類や割り箸など身近な材料が燃料となる
- ③炭利用なら煙やススがほとんど出ない。また使用後は灰を処分するだけなのでアフターケアも簡単燃料の追加が簡単。



ペール缶で蒸した肉まんあんまん



料理を見守る北田正子さん。



クラフト製作前にもりの大切さを伝える山本理事長

「子どもデイサービスゆうゆう」には、小学生から高校生まで幅広い学年の子ども達が、放課後や休みの日に通っています。今回は、いつもの「子どもデイサービスゆうゆう白島」に引き続き、初めて横川におじゃましました。この日のイベントは、もりメイト倶楽部の講師(山本・原田)による木工クラフトを行いました。自然の素材を使った箱庭を、沢山のイメージを膨らませて作り上げました。材料を選び、枝を切ったり貼ったり、穴を開けてと講師に頼んだり、と、指先を使った細かな作業や人との関わりを育む絶好の場です。子ども達の生き生きとした姿、独創的な発想に触れ、共に楽しんだ瞬間のひと時でした。材料を準備して下さったクラフト部会のメンバーにも感謝です。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。原田 記



・指導員の先生とマンツーマン(上)

・友だちと一緒に(下)

.....

黙々と一人で等々、様々な姿がみられました。後片づけも積極的に手伝ってくれて、とても助かりました。

たくさんの木を飾って屋根を作りました(左)。ソーラーハウスのある家。たっぷりと光を受ける事ができるように、形を工夫しています(中)。家の周りを柵で囲みました。屋根に上って遊ぶように階段も作りました(右)。この他にもステキな数々の作品が仕上がりました。一部しか紹介出来ないのが残念です。



へらおおバコ

原田 澄

へらおおバコ (笹大葉子)

<オオバコ科・オオバコ属>

ヨーロッパ原産の一年草。江戸時代末期に日本に渡来したといわれ、温度や土壌への適応能力が優れているため、今や世界中に帰化し分布しているコスモポリタン(広布種)雑草となっている。野原や草原、道端、河川敷など至る所に自生。初夏から夏に高さ 20~70 ㍎の花径を伸ばし、小さな花を穂状に付ける。穂の周りに細い糸に支えられ飛び出して白い輪のように目立つのは雄しべ。葉は長さ 10~20 ㍎の細長いへら状で、名前の由来も葉の形から来ている。・・・
▼へらおおバコは大田川放水路の土手や商工センターの緑地帯に群生している。実はこのへらおおバコ、ハーブや漢方としても大変優れているという▼オリンピックやコロナ禍の中での暑い暑い今年の夏。そして迎える広島のはちろくこと 8月6日。白く着飾ったへらおおバコの花も、暑さをものともせず静かに静かに風にゆれる。 祈 平和。 ~西区 2021・8月~





—8月— 活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください

お知らせ

7月例会は「黄金山桜救出大作戦」。事前の草刈り隊も結成し、準備万端整え、参加者も37名と、多くの方が予定されておりまして。しかし残念！雨のため中止となりました。

この例会は、地元の要請と熱き思いに応え再度計画を予定しています。追って連絡させていただきます。

～木工クラフト楽しみたい方お待ちします～

- 7日(土) 湯来町にて間伐材製材・製材機整備
- 21日(土)「スクウスクウの森」にて簡易手押し製材機にて作業
- 28日(土) 山本基地(鹿ヶ谷)
- 連絡先：佐藤 090-1682-6305
satoken069@yahoo.co.jp

クラフト
部会

- 日時：8月1日(日) 9:00集合
- ※8月の里山部会は1日(日)に実施し終了しました。

- ・地域貢献活動の草刈り
- ・小川フィールドにて駐車場・墓所の草刈り

- ※9月の活動は、12日(日)スクウスクウの森にて例会(10月)の準備を予定。

- 連絡先：岩田 080-5751-3798

里山部会

第2回もりメイトキッズを開催します！ 8月9日(月祝)

～次回カンケン部会～

- 日時 9月13日(月)
- 場所 袋町交流プラザ3F
- 連絡先：佐々木
mamakin0404@yahoo.co.jp

環研
部会

9月号の会報発送作業は下記の通り、実施します。

- 日時：9月1日(水) 18:00～20:00
- 場所：市民交流プラザ3F



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。

私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類

【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。

【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

【個人会費】：3,000円

【企業会費】：50,000円

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3283383

【ゆうちょ銀行】15170-18029291

《口座名：特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》

お申込み方法

下記まで電話、又はメールで

【電話】090-6419-7531

【Email】info@morimate-ch.com